平成26年度活動報告

松本地域健康産業推進協議会

健康産業フォーラム

健康産業フォーラム(通算第4回)

- 1 期 日 平成26年5月20日(火) 15時30分~17時00分
- 2 会 場 松本市役所 議員協議会室
- 3 内容

平成25年度 松本地域健康産業推進協議会の取組成果発表

(1)「介護現場の市民ニーズ」

特定非営利活動法人SCOP 主任研究員補佐 牧野透太 氏

(2)「けんきゃくんの効果・効用」 株式会社デリカ 代表取締役 戸田竹廣 氏

(3)「健康寿命延伸 特別金利定期積金」 松本信用金庫 業務部課長代理 山田智之 氏

健康産業フォーラム(通算第5回)

- 1 期 日 平成26年10月2日(木) 18時00分~19時30分
- 2 会 場 松本市中央公民館 3-1会議室
- 3 内容

「医療産業の巨大化現象に注目せよ!!

~アベノミクス成長戦略の柱は世界への病院展開と医療機器輸出~」

(株)産業タイムズ社 代表取締役社長 泉谷 渉 氏

健康産業フォーラム(通算第6回)

- 1 期 日 平成27年2月3日(火) 13時30分~15時00分
- 2 会 場 松本市役所 議員協議会室
- 3 内容

「ケアプロ、その挑戦の軌跡!! ~革新的なヘルスケアサービスをプロデュース~」 ケアプロ(株) 代表取締役社長 川添高志 氏

2. 現場ニーズとのマッチング (コクヨファニチャー(株))

これまでの経緯

26.1 コクヨファニチャー(株)から調査企画の提案。 松本市立病院と分科会を設置して検討開始。

26.6 調査実施

26.10 市立病院向け報告会

26.11 第4回世界健康首都会議にて成果発表



「病院空間改善のための働き方」調査

〇調査方法

日時 平成26年6月19日(木)8:30~17:15 場所 松本市立病院 3階外科病棟、5階内科病棟 内容

- ア 看護師追跡調査・・・各病棟の看護師1名に対し、 調査員1名が看護業務を観察。
- イ 定点観察調査・・・調査員1名がスタッフステーションに 滞在し、写真撮影。
- ウ 看護師長インタビュー調査・・・各病棟の看護師長から 現場の課題をヒアリング。

〇実績

・コクヨファニチャーは、自社製品が、看護師に負荷のかかる姿勢で使われていることを発見できた他、新製品のアイデアも多数得られた。 ・松本市立病院では、各業務にかかる時間や作業動線等について、 客観的な考察を得ることができた。

3. 市民ニーズ調査事業

患者の負担を軽くしたい

■ 日常生活の不便さを解消したい





・衣類の医療機能対応リメイクサービス・審集権対応の在宅レスパイトサービス、 外出間行サービス

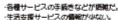
・辻猴の趨寒きや入浴支援サービス

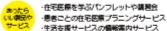




■ 在宅医療の情報をもっと簡単に手に入れたい

・在宅医療を始めるにあたって、 知っておくべき情報を得られる機会が 少ない。









・ 透便の片付け・身住屋をするのが大変。・ ブライバシーを保ちにくいことに 扱いがある。



・在宅医療に適した自宅リフォームサービス





■意思疎通や連絡を、もっと効率的に気軽にしたい



困って いること

・何度も同じ説明をすることが振わしい。・何時や相談をするのに気後れする。・残職などで、意思疎通がむずかしい。



・患者の情報を地域の医療従事者間で 共有できるICTサービス ・気軽に医療従事者に対してリクエストを 出せるコミュニケーションツール

医療従事者の負担を軽くしたい

■ 快適に/効率的に、車で移動したい



場舎宅を効率的にまわるルート探しに困る。場舎宅の洗面所を借りることができない場合。手洗い・うかいができない。

患者宅を回っているときの着替えに困る。



・患者と医療従事者の都合を開催し、 量適なルートや駐車場を教えてくれるシステム・ ・放開用に車の設備を改造するサービス (水の利用、医療機器の議載など)



■ 医療用衣類や手袋等にかかる 手間や気苦労を解消したい



大量の洗濯物を処理するのが大変だ。 使い格でだとわかる外見のエプロンや 手袋等は、患者宅で使いにくい。



·医療用の衣類のクリーニング外注サービス ・患者宅さも遅和感ないデザインの医療用衣類

■情報の記録と共有をスムーズにしたい



・書類作成や、影響の電子化に時間がかかる。 ・医療覚事者間で、患者や在宅医療可能施設 等の情報を、効率的に共有できていない。



・動間先や移動中でも電子的に記録をとる。 書類を一括入力するといった入力システム ・地域内の在宅医原対応リソースを包括的に 投稿できるWebサービス





■ ノウハウを共有し、人材を確保したい



在宅医療のベテランの敷が限られているため、 そうした人材に業務が集中する。

人材不足のため対応しきれないことがある。



・在宅医療のノウハウを体系的に多べる調座や 人材育成コンサルティングサービス

・在宅医療中の患者から問い合わせを受け、緊 患度や必要性を判断し、かかり付けの医師・看 護師・ケアマネージャー等へ連続を振り分ける 取口サービス

4. 実用化検証・実証実験事業等

(1) 松本信用金庫

(2) 株式会社第一興商

(3)株式会社JINRIKI

(4) 森永乳業株式会社

(1) 金融商品による検診受診率向上や健康意識高揚 (松本信用金庫)

これまでの経緯

- 25.2 松本市と企業連携協定調印式を実施。
- 25.9 「健康寿命延伸特別金利定期積金」 販売開始
- 26.3 販売終了(契約者1,646人 契約額約12億円)
- 26.6 「健康寿命延伸 ファミリーサポート定期積金」 販売開始
- 26.7 「健康情報誌」第2号(身体活動編)発行
- 27.1 「健康情報誌」第3号(つながり編)発行

特典申込書(がん検診受診確認)



実証実験の内容

- 〇事業費: 1,000,000円(広告宣伝費、特典、モニター調査費等)
- 〇実施内容

概要

- ア 商品名「健康寿命延伸 ファミリーサポート定期積金」
- イ 利率 店頭表示金利
- ウ 発売期間 平成26年6月~
- エ 契約期間 5年間
- オ 販売エリア 松本信用金庫 全店舗 (松本市、安曇野市、塩尻市 他)

預金者へのインセンティブ

- ア ライフサポートサービス(提携ホテル宿泊割引等)
- イ 健康関連サービス(セカンドオピニオン、24時間電話健康相談等)
- ウ 健康情報誌 (特別金利定期積金 契約者と共通)
- エ がん検診受診を確認した契約者から毎年ディズニーランドチケット を抽選でプレゼント

検証項目

- ア 特典の満足度
- イ 健診、がん検診受診者の増加 (特別金利定期積金も継続検証)

〇実績

「ファミリーサポート定期積金」

- ア 契約者数:351人 契約額:約2億円(2月現在)
- イ 商品の魅力:「健康関連サービス」(37%)
- ウ 「健康情報誌(つながり編)」:参考になった(60%)
- エ 推計20人が本商品をきっかけにがん検診を受診

「特別金利定期積金」

オ ラーラ松本利用者:415人

(2) カラオケシステムによる健康・生きがいづくり (㈱第一興商)

これまでの経緯

- 25.11 第3回世界健康首都会議にて、地区福祉ひろ ばコーディネーター向けデモンストレーションを 実施
- 25.12 分科会を設置し検討開始
- 26.5 実証事業開始
- 26.11 第4回世界健康首都会議にて、中間発表



実証実験の内容

○事業費:1,000,000円

(情報使用料、セッション委託料、広告宣伝費、他)

〇実施内容

3地区の福祉ひろばに機器を設置して、指導スタッフ付きの 健康教室を行い、健康意識、運動習慣等の変化を検証する。

場所:新村、松原、岡田地区福祉ひろば 期間:平成26年5月~平成27年2月

回数:全54回 (1クール6回 × 3クール × 3地区)

〇実績

延べ参加人数:1,066人

→第3クールの男性限定講座(岡田地区)では、 男性約20名が継続参加

健康関連QOL(SF-36)で有意差のあったスコア

- ·GH(全体的健康観)
- ·VT(活力)
- ・GH N(全体的健康観{国民標準値に基づいたスコアリング})
- ・VT N(活力{国民標準値に基づいたスコアリング})
- ·PCS(身体的QOLサマリースコア)

アンケート調査

- ・81.6%が、カラオケ健康教室をきっかけに、他の事業にも参加 するようになったと回答。
- ・82.9%が、カラオケ健康教室は、ひろばに参加するきっかけとなり、また参加したいと回答。

(3) 車いすけん引装置を使った旅行検討ワークショップ (株JINRIKI)

これまでの経緯

26.6 分科会を設置し検討開始

27.2 実証事業開始



実証実験の内容

○事業費:216,000円 (ワークショップ運営費)

〇実施内容

車いすけん引装置JINRIKIを市街地散策に使用する場合における、ユーザー側、供給側双方の課題を明らかにするため、モデルツアー企画に向けたワークショップを開催。

障がいを持つ子どもたちとその家族にもやさしいまちづくりへ 「新しい発見ができる松本のプチ旅行企画を考えるワークショップ」 平成27年3月10日(火) 10:30~13:00 松本市中央公民館 3-2会議室

参加団体 ゆうテラス、(株)グラグリッド、松本大学、 アビリティーズケアネット(株)、長野県テクノ財団

〇実績

車いす利用者2名、商店街関係者、旅行事業関係者が参加 14の体験アイディアを得て、6つの分類に整理することができた。



(4)ラクトフェリン入りヨーグルトを使った感染症対策に関する調査 (森永乳業㈱、信州大学)

実証実験の内容

○事業費:1,104,840円

〇実施内容

保育園児約1200名を対象に、感染性胃腸炎に予防効果があるとされるラクトフェリンを含有するヨーグルトの摂取による効果検証

〇効果検証 現在分析中

実施期間

ヨーグルト摂取期間 平成26年11月~平成27年3月(5か月)

その他の取り組み

- ・森永乳業㈱と連携市民と観光客を対象に健康維持を支持する取り組みを開始
- ・白骨温泉「健康を感じるツアー」の参加者にラクト フェリンヨーグルトを提供
- ・松本大学の学食で特定のランチメニューにラクト フェリンヨーグルトを提供
- ・松本市内の飲食店3店舗と連携して、ラクトフェリンヨーグルトを使用したメニューを開発、販売



2015.1.20 市民タイムス

5. 企業連携事業

- (1) ローソン「まちかど健康相談」
- (2) 白骨温泉「健康を感じるツアー」

(1) ローソン「まちかど健康相談」

(「健康寿命延伸都市・松本」プロジェクト)

これまでの経緯

- 25. 11. 18 株式会社ローソンと「松本市民の健康づくり に関する協定」を締結
 - 26 第3回世界健康首都会議において株式会社 ローソンが取組みを報告
- 26. 3.14 本格実施を前にまちかど健康相談を松本石 芝店にて2日間プレ実施
 - 7.10 平成26年度最初のまちかど健康相談を松 本石芝店で実施(7月は4店舗で計4回実施)
 - 9. 3店舗計3回実施
 - 11. 3店舗計3回実施



概要

- ローソン店舗駐車場内にテントを設置し、市の保健師が来店者に対し無料で健康相談を実施(体組成測定、健診受診勧奨、健診申込み、ストレスチェック、咀嚼力チェック、アルコールパッチテスト、他)
- 相談者には低糖質パン、特保飲料などの試供品提供
- 店内ポスター、レジ袋チラシ、広報まつもと、地区内回覧、および児童センター等の対象者利用施設で実施を告知。

まちかど健康相談

7月日程

10日(木) 松本石芝店 参加者64名(男13:女51) 12日(土) 松本征矢野店 参加者53名(男17:女36) 18日(金) 松本庄内店 参加者71名(男12:女59) 22日(火) 松本寿北8丁目店 参加者61名(男 9:女52)

9月日程

12日(金) 松本寿北8丁目店 参加者50名(男10:女40) 20日(土) 松本石芝店 参加者61名(男19:女42) 26日(金) 松本庄内店 参加者59名(男16:女43)

11月日程

8日(土) 松本庄内店 参加者44名(男19:女25) 14日(金) 松本石芝店 参加者40名(男23:女17) 28日(金) 松本寿北8丁目店 参加者29名(男 8:女21)

効果

健康に関心の薄い層、若年層(既存の健診実施場所では 出会えない層)へのアプローチの場として、健診の受診勧 奨を行うことが可能

⇒ 参加者の約2割が健診申込み意向

(2) 白骨温泉「健康を感じるツアー」

これまでの経緯

- 25. 8 白骨温泉旅館組合と「現代版湯治」をコンセプトとした新しい旅行スタイルの検討開始
 - 10. 18 協議会内にヘルスツーリズム分科会を設置 (旅館組合、松本観光コンベンション協会、㈱長 野メディカルサポート、松本市)
- 26. 5.18 国際シンポジウム「温泉を医学する」に共催 (主催:健康保養地医学研究機構、信濃毎日新 聞社)
 - 9. 10 泡の湯旅館にて1回目のツアーを開催
 - 17 泡の湯旅館にて2回目のツアーを開催
 - 11. 5 湯元齋藤旅館にて3回目のツアーを開催



内容

◆ 基本コンセプトは「アクティブ・レスト(積極的な休養)!」

信州の名湯 白骨温泉 健康づくりのスペシャリスト (医師、理学療法士保健師、管理栄養士)

主なツアーメニュー

- フィジカルチェック及びポイント指導
- 健康講座
- 乗鞍ー之瀬遊園ウォーキング

(相澤病院、松本市立病院、松本市医師会、他)

- 市長講話 (松本市)
- 問診と健康相談 (株長野メディカルサポート、他)
- 入浴指導 (泡の湯旅館、湯元齋藤旅館)
- ・健康食メニュー「解析(懐石)料理」

(㈱王滝、泡の湯旅館、湯元齋藤旅館)

旅行企画・実施 : 一般社団法人松本観光コンベンション協会 ツアーコーディネート : 株式会社長野メディカルサポート

実績

- ①泡の湯旅館 9月10日(水)~9月13日(土) 参加者 県内4名、県外6名 計10名 平均年齢 74.9歳
- ②泡の湯旅館 9月17日(水)~9月20日(土) 参加者 県内10名、県外1名 計11名 平均年齢 75.3歳
- ③湯元齋藤旅館 11月5日(水)~11月8日(土) 参加者 県内8名、県外5名 計13名 平均年齢 73.7歳





自然に癒され、自分の身体を見つめなおす4日間

ツアースケジュール				
	1日目	2日目	3日目	4日目
朝食	-	健康メニュー	健康メニュー	-
午前		健康講座 ※内容は各ツアーごと に異なります	理学療法士同行 で乗鞍散策 ※雨天時 運動実技講座	11:00までに チェックアウト
		松本市長の講話		
昼食	-	弁当	弁当	-
午後	14:00 集合 オリエンテーション 温泉入浴指導	フィジカルチェック	自由時間	
	血圧測定と問診	生活習慣病の 医療相談		
夕食	健康メニュー	健康メニュー	健康メニュー	
夜	血圧測定と問診	自由時間	自由時間	

6. 第4回世界健康首都会議

平成26年11月18日(火)、19日(水) @Mウイング (参加者:のべ1,100人)

- •基調講演 ハーバード大学 イチロー・カワチ 氏 フィンランドアウトドア協会名誉総裁 トゥオモ・ヤントゥネン 氏
- ・松本発健康先進都市ゼミナール (株)くまもと健康支援研究所、 弘前大学 (長野県「地域発 元気づくり支援金」活用事業)
- •**取組事例発表** マッスル(株)、(株)第一興商、松本市医師会、多摩川精機(株)
- •パネル・ディスカッション 「健康な地域をつくるために ~ "絆"という「共通」価値を求めて~」
- •企業•団体によるブース出展 (全21ブース)
- デモンストレーションの実施
- ・関係団体の研修・セミナー
- •健康弁当の販売 (※19日のみ 限定300食)



ハーバード大学 イチロー・カワチ氏による基調講演